



2026 年 9 月 11 日 PRESS RELEASE

パークホテル東京、月替わり現代アート展「J-ART Project」始動

～倉本美津留キュレーションで日本の新たな才能を紹介～

パークホテル東京（運営：株式会社芝パークホテル／東京都港区、代表取締役社長 田中紀良）は、2026 年 10 月 1 日（木）より、日本の現代アートを国内外へ発信する新プロジェクト「J-ART Project」をスタートします。放送作家・倉本美津留氏をキュレーターに迎え、ホテル 31 階のギャラリールームを会場に、毎月 1 名の日本人アーティストを紹介する“月替わりプッシュアーティスト展”を 1 年間にわたり開催します。

倉本 美津留

×

パークホテル東京



倉本美津留 × パークホテル東京。日本の現代アートと世界の旅人をつなぐ新プロジェクト「J-ART Project」。

「J-ART」に込めた想い

日本には、独自の感性と確かな表現力を持ちながら、まだ世界に十分知られていない現代アーティストが数多くいます。作品が生まれても、その背景にある物語や作家のまなざしまで含めて海外へ届ける機会は、決して多くありません。だからこそ、私たちはホテルという場所にできることがあると考えました。

パークホテル東京には、欧州・北米・豪州を中心に、世界各地から旅人が訪れます。街を歩き、文化に触れ、新しい価値観との出会いを求める人々が集うホテルは、単なる展示会場ではなく、日本のアートと世界を結ぶ「ハブ」になれるはずです。チェックインからチェックアウトまでの滞在の中で、ふと作品に足を止め、作家を知り、その記憶を母国へ持ち帰っていただく。その小さな出会いの積み重ねが、日本の現代アートを世界へひらく力になると信じています。

「J-ART」という名前には、日本の現代アートを一つの文化として力強く発信し、すでに花開いた才能だけでなく、これから世界へ羽ばたく才能の種にも光を届けたいという願いを込めました。作品を壁に飾って終わるのではなく、作家の存在や制作の背景を伝え、鑑賞する人の関心を次の応援や交流へとつないでいく。パークホテル東京がその入口となり、アーティスト、旅人、ギャラリーなど多様な人々の接点を育てながら、日本のアート「J-ART」を海外へ届けていきます。



内田有《cool it》シリーズ。
ガラスの鑄造技法による代表的な作品。



松山賢《土器怪人情景模型（アンドウジン）》。
縄文土器が怪人になった野焼き陶彫と、箱に日本画で情景を描いた作品。



安居智博《日用品ヒーロー》。
独創的なヒーロー世界を表現する代表作。

月替わりで、ひとりの才能を深く紹介

J-ART Project では、毎月 1 名の日本人アーティストを「プッシュアーティスト」として選出します。展示点数は各回 5 ～10 点を予定。絵画、立体などジャンルの枠にとらわれず、倉本美津留の独自の視点で、いま出会ってほしい表現と才能を紹介します。月ごとに展示が入れ替わることで、訪れるたびに異なる作家、異なる世界観に出会える場をつくります。

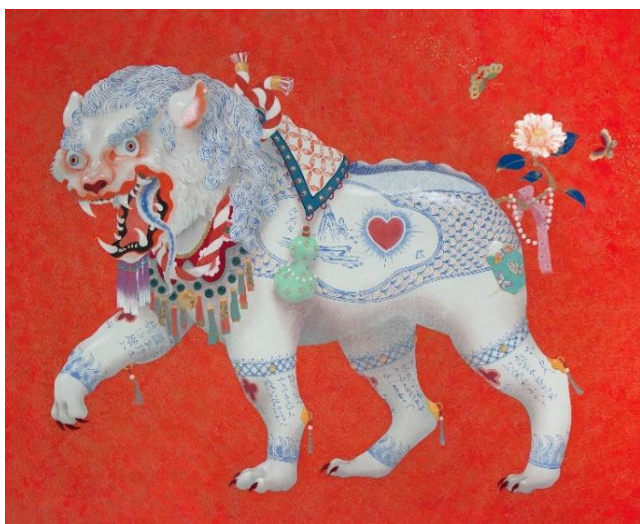
会場は、パークホテル東京 31 階のギャラリールーム。作品は宿泊ゲストに限らず、どなたでも無料で鑑賞でき、購入も可能です。旅の途中で偶然作品に出会う人、アートを目的に訪れる人、国内外のメディアやアート関係者など、多様な人々が同じ場所で作品を囲むことで、新たな対話やつながりが生まれることを期待しています。



七戸優《Moon Hatch》。国内外で発表を重ねてきた代表的な油彩作品のひとつ。



坂本友由《メンのダシに使われる》。日常の風景にシュールな違和感を忍ばせる、坂本友由ならではの絵画作品。



大島利佳《阿》。人物表現と縁起物のモチーフを通して、“幸福”へのまなざしを描く作品。



物体に宿る魂をテーマにした、山田勇魚を代表する立体作品。

キュレーター：倉本美津留（放送作家）

『ダウンタウンのごっつええ感じ』『M-1 グランプリ』『たけしの万物創世紀』『情熱大陸』など数々の人気番組を手がけてきた放送作家。一方で、番組や展覧会を通じて「笑い」の視点から現代アートを読み解く活動にも長年取り組み、独自の審美眼で数々の才能を見出してきました。まだ広く知られていない“これから”のアーティストにいち早く光を当てる倉本氏のキュレーションにより、ジャンルの枠を超えた新鮮な視点で日本の現代アートを紹介します。

展示概要

プロジェクト名	J-ART Project
キュレーター	倉本美津留（放送作家）
開催期間	2026 年 10 月 1 日（木）スタート ※以降 1 年間、月替わりで開催
会場	パークホテル東京 31 階 ギャラリールーム （東京都港区東新橋 1-7-1 汐留メディアタワー）
内容	毎月 1 名の日本人アーティストを紹介する企画展。 各回 5～10 点の作品を展示し、多様な日本の現代アートを継続的に発信。
入場	宿泊ゲストをはじめ、どなたでもご覧いただけます（入場無料）。
販売	展示作品は購入可能。

アートホテルとして積み重ねてきた土台

パークホテル東京は、「日本の美意識が体感できる時空間」をコンセプトに、2012 年よりアートを核としたブランディングを推進しています。館内には常時 400 点以上の作品を展示・販売し、26 階から 34 階までの客室階の廊下を「コリドーギャラリー」として展開。ゲストが館内を巡る中で、自然と作品に出会える環境を整えてきました。訪日外国人ゲストの比率は 95%以上で、欧州・北米・豪州が中心です。高層階から望む東京の景色と、日本の感性を伝えるアートが響き合う空間で、ホテルでの滞在そのものを文化体験へと育ててきたことが、J-ART Project の土台となっています。



■参加アーティスト紹介

倉本美津留のキュレーションにより、毎月ひとりの日本人アーティストに光を当てます。現在確定している、初回から2027年4月までの参加アーティストをご紹介します。



2026年10月 プッシュアーティスト

七戸 優 Yu Shichinohe

1959年2月生まれ。ゼネコンの設計部勤務を経て、イラストレーターとして活動を始め、次第にファインアートの道へ。銀座・青木画廊で作品を発表した後、東アジア市場を中心に展示を重ねてきた。近年は国内での発表に軸足を移し、制作活動が続けている。



2026年11月 プッシュアーティスト

松山 賢 Ken Matsuyama

岩手県湯舟沢環状列石そばで育つ。横浜市三殿台遺跡近くに在住。

京都で日本画を描き、大阪で土器、人形、彫刻をつくりはじめる。最近は、土器土偶が怪人になった油彩画を描き、それを見て粘土で作り、縄文時代のように野焼きした彫刻を発表。元になった土器土偶の復元模刻、漆塗土器、縄文集落復元図などを制作。



2026年12月 プッシュアーティスト

坂本 友由 Tomoyoshi Sakamoto

1985年栃木県生まれ。2008年、東京藝術大学美術学部デザイン科卒業。主に可愛い少女をモチーフに、皮肉やブラックユーモアを含ませた表現で現代に生きる人間のリアルな心象を描く。現代の社会が抱える矛盾や残酷さ、悲喜劇などを、少女を媒体として概念的に表現する。



2027 年 1 月 プッシュアーティスト
山田 勇魚 Isana Yamada

1988 年埼玉県出身。東京芸術大学美術研究科デザイン専攻修了。
物体に宿る魂をテーマに活動している美術作家。人工物を生命体に見立てた立体作品を制作。古道具を妖怪化させた付喪神シリーズ、沈没船が鯨の姿となり母港へと帰る帰港シリーズや流れ着く漂着物を渡鳥に見立てた漂流シリーズ、化石化させた人工物を古代生物に見立てる dig るシリーズなど様々なアプローチで物体に宿る魂を表現している。



2027 年 2 月 プッシュアーティスト
内田 有 Yu Uchida

1979 年東京都生まれ。東京藝術大学で鋳金とガラス造形を学び、英国 University for the Creative Arts でも研鑽を積む。ガラスを主素材に、鋳造技法によるアイスクャンディーの造形を制作。白くまをキャラクター化した「cool it」シリーズでは、溶けゆく造形を通して環境問題へのまなざしとポップカルチャーの「かわいさ」を重ね合わせる。企業やブランドとのコラボレーション、国内外での展覧会にも多数参加。



2027 年 3 月 プッシュアーティスト
安居 智博 Tomohiro Yasui

アーティスト・クリエイター。カミロボ作家。幼少の頃から作り続けている紙工作「カミロボ」や日用品ヒーロー・油絵・CG 制作・衣装制作など様々な表現方法で活動。News Week 誌「世界が尊敬する日本人 100」選出。高校美術教科書作品掲載。
著書に「100 均グッズ改造ヒーロー大集合」（平凡社）と「動かして遊べるカミロボ」（ソシム）がある。



2027 年 4 月 プッシュアーティスト
大島 利佳 Rika Oshima

1995 年埼玉県生まれ。
2016 年から人物画を描き始める。2016 年から人物画を描き始める。人物の表情の豊かさ、面白さ、柔らかさに着目。幸福を制作のテーマに、縁起物についてリサーチ、作品に取り入れている。

* * *

パークホテル東京について

パークホテル東京は、1948 年創業の芝パークホテルの姉妹ホテルです。汐留メディアタワー25 階から34 階にあり、東京タワーや富士山を見渡せる絶景が魅力です。客室は268 室で、うち52 室はアーティストが壁に絵を描いた「アーティストルーム」です。この「アーティストルーム」は、“日本の美意識が体感できる時空間”をコンセプトにしたプロジェクトで、ジャパン・ツーリズム・アワードで領域優秀賞を受賞しました。ロビーや回廊には400 点以上のアートが展示されています。呈茶や絵画体験などのアートイベントも開催しています。

<https://parkhoteltokyo.com>



パークホテル東京 外観

★ご取材をご希望の方はお気軽にお問合せください。

本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先

芝パークホテル / パークホテル東京 マーケティング部ブランド戦略推進課

担当:喜多尾、角田

pr@shibaparkhotel.com

TEL : 03-3433-4141 (代) FAX : 03-5470-7515